

郷音

高田教区報

HIBIKI

流

高田教区 教化テーマ

私はどこで生きているのか
～たずねよう 真宗の教えに～

2022年11月28日 第156号



他者を
己ノ身とする
己ノ心とする
自分を知る
己ノ心を知る

太田健一書
(上越市柿崎区岩手)



高田教区

検索

発行所 真宗大谷派(東本願寺)高田教務所
上越市寺町2-24-4 ☎025-524-3913
<http://www.takada-kyoku.jp>

発行 橘 秀憲
印刷 永田印刷株式会社

門徒の立場から 教区改編について

教務所長に質問

実施日 令和4年10月26日
場所 所長室で対話



質問者

伝導広報部員 深井宏隆
(6組最尊寺 門徒)

回答者

高田教務所長 橘 秀憲

何故、門徒の私が教区改編について質問するのかを説明させていただきます。

先般、開催された第6組門徒会の所長巡回で教区改編の進捗状況の説明をお聞きし、最終段階の調整に入っていると認識しました。

新教区（新潟教区）の教務所は、現三条教務所に置く計画が進められています。三条教区の人にとっては「名称が変わった」で、済みますが、高田教区の場合は、何故、高田教区が無くなってしまふのか疑問を感じる人がいる事でしょう。

教区通信143号別刷第1次教区改編説明会特集号 (takada-kyoku.jp)

私は本山で、法名を頂いた最後の法話の中で「真宗にとって高田は特別の場所なので」と聞きました。特別とは、宗祖親鸞聖人ご流罪の地に由来しています。講師が高田へ出張の際、母親から高田は特別の地なのだから丁寧と言われたそうです。

法話が終わると、「私達の高田は特別の地なんだね」と、ささやく声が聞こえて来たのです。高田教区が無くなると思った門徒さんはどのように思うのでしょうか。

この際、教務所（教団）から門徒に対して、丁寧の説明を行う必要があると感じたからです。それでは質問に移ります。

深井・改編により高田教区で大きく変わることは何でしょうか。

橘・高田の地が宗祖のご縁の地であることは変わらないことです。真宗を名告る宗門にとって大切な地であることはまちがいありません。しかしながら人口減少、少子高齢化の進む中、世代間継承や仏事に対する価値観の変化などの現状を受け止めつつ、また、宗門の財政状況から宗務改革、特に教区改編は不可避の課題であります。先ず人員面では、現高田教務所の教務所長と主計が削減されます。そのことから、主計不在となりますので、今のところ現金の取り扱いを止める方向で協議をしております。現行の出版物・授与物等取り扱いも同じように、新潟教務所での取り扱いとなります。必要な場合は新潟教務所での対応と

なりますので、口座振込・郵便振替等をご活用いただくことになろうかと思えます。

改編後の高田教務支所には、教化面では駐在を常駐させ、一般事務を取り扱う職員も配置予定です。

深井・新井・高田別院はどうなるのでしょうか。

高田教区には新井・高田と二つの別院があり、真宗門徒のよりどころの他、地域に於ける文化発信の場所でもありました。

春の花見・秋の両別院のおたやは、昔から、地域の伝統行事として定着しています。

橘・新教区になっても新井・高田・三条別院の3つの別院はそのまま存続します。基本的にそれぞれの崇敬地域は変更ありませんし、これまでと変わりません。教区・組の各種研修会等の会場として、これまでどおり活用いただけます。

真宗門徒の大切な別院報恩講、おたやに関しては、コロナが落ち着いたら、これまで以上に盛り上がって欲しいと願っています。

深井・教区改編は、宗派にとって大きな改革だと思っています。

教団を支えている門徒は、住職から教区改編をお聞きするだけでなく、公式な（教務所・本山）お知らせが必要と思うのですが。

橘・教団組織の伝達は、基本的に本山・教区・組・寺院の順で門徒さんに伝わります。これまで、各組の代表者等で構成される教区会、教区門徒会の議決機関を経ながら本山からの

『同朋新聞』（第767号）や教区準備委員会発行の『かわら版』（第1〜3号）、教区ホームページなどで、門徒さんに周知も進めてきたところだ。

寺だけに頼るのでなく門徒会に出席した寺の役員が所属寺院に戻り、住職さんと一緒に門徒さんにお伝えする方法もあるのではないのでしょうか。

深井：なるほど、門徒会に出席してはいますが、そこまで考えたことはありませんでした。

提案です。新聞等マスコミを利用する方法は検討されたのでしょうか。特に高田教区内では『地域の話題』として大きなニュース性があると思います。如何でしょうか。

橘：他の教区改編の動きを地方紙に取り上げられた事実があるので、検討して、2023年7月1日の新教区、新潟教区発足の前後に新聞等に掲載されると門徒の皆さんに伝わりやすいと思います。

深井：『今さら』、基本的なことをお聞きします。教団として、教区改編はいつ頃から取り掛かったのでしょうか。

橘：三条・高田教区における教区改編取り組みの経緯について説明いたします。

まず、2003年「宗務改革推進条例」施行に始まり、「宗務改革推進準備委員会」が設置されました。

2010年2月 第1回三条・高田教区地方協議会が開催され、中央委員会から趣旨説

明を受け、意見交換が行われました。

その後、宗祖御遠忌が2015年三条教区、2018年高田教区で執り行われた関係もあり協議を中断した期間がありました。2019年3月第6回地方協議会で開催スケジュールを策定し、地方協議会の承認を経て、2021年7月教区会・教区門徒会の議決を得て進めています。2022年6月新潟教区改編概要（現案）を基に、各組を巡り説明しているところです。

深井：門徒会で使った表紙が緑色の資料ですね。これまでの経緯を理解しましたが、私は、教区改編は教団の弱体化に結び付くのではと思うのです。本山は何を狙っているのでしょうか。

橘：先に述べました財政面では人件費の削減は一つですが、効率化を図るため宗派の予算規模の見直しを行い、1934年（昭和9年）に定められた現在の30教区制を段階的に17教区に改編を進めます。すでにこれまで三つの新教区がスタートしており、現在は23教区となっています。

期	現教区	新教区	改編時期
第1期	高山・岐阜 日豊・久留米・長崎・熊本・鹿児島 奥羽・山形・仙台	岐阜高山 九州 東北	2021年7月 2021年7月 2022年7月
第2期	富山・高岡 小松・大聖寺	富山 新潟	2023年7月 2023年7月
第3期	能登・金沢 長浜・京都 山陽・四国	— — —	未定 未定 未定



深井：新潟教区は全27カ組が示されています。その中で現高田教区はそのまま移行する計画ですが、組改編について検討されたのでしょうか。

橘：現状の高田教区では、過去に見直しを行い11カ組となっています。名称が重複する3カ組については「高田」「中越」の冠を付けることが確認されています。新教区運営面から今後は組を中心に運営することも願われているので、今回は現状のままとします。ただし、教区改編後の早い段階で新潟教区として組改編について協議確認を行っていくことは申し送りの一つとしています。

深井…改編によりこれまで3つの新教区がスタートしましたが、問題点は聞こえていますか。

橘…先行している教区ごとに改編の内容の詳細や運営方法が違うので、すべて同じとは言えません。しかしながら、参考にしたり、情報交換や質問を聞ける体制を構築してあります。

深井…最後に所長さんからのコメントをお聞かせください。
橘…教区の皆さんが納得して新教区をお迎えできればと願っています。それについては、様々な声をいただければと思っていますし、これからも委員会を中心に、協議を重ねて検討して行かなければと思っておりますので、教区内の皆様方にはご協力をお願い申し上げます。

対談を終えて

将来の教団・お寺の運営を考えると改編による効率化を図る時期に来ていることは事実です。改編によって一番影響を受けるのは寺院です。門徒は、改編は関係ない、決まったら従うと放置していましたが、これを機に、門徒とお寺の良い関係を考える機会だと感じました。

5 三条教区・高田教区の規模

三条教区【中越・下越・佐渡地方】

16カ組 463 寺院・教会
1 別院

高田教区【上越地方】

11カ組 302 寺院・教会
2 別院
1 支院



ネット検索



**池の平青少年センター
50周年記念事業について**

2023年に池の平青少年センターは50周年を迎えます。そのことを記念して2023年6月24日と25日に50周年記念行事を行います。

24日は記念式典と夜には「ホテルBAR」を計画中です。

25日は50周年記念マルシェを開催します。センターの50年の誕生日をお祝いするイメージで、50年の振り返りのコーナーや飲食、物販のあるイベントにする計画です。また、漫才法話や音楽ライブも開催予定です。子どもたちの遊びブースも計画。詳細が決まりましたら高田教区内の各広報にてお知らせいたします。50周年記念マルシェに是非お越しください。



坊さん漫才
『えしんりょう』



芝生広場に設置予定のベルテント。
お誕生日ケーキをイメージしています。



↑音楽ライブ
『～NIGA～Duo Flumen』

珠数つなぎ法話

次回 林

今回 大西

第7回 水嶋

第6回 豊島

第5回 井上

第4回 比後

第3回 渡邊

第2回 藤島

第1回 金子

リレー方式の珠数つなぎで法話をいただくコーナーです。

第8回 「しらんじゃあ」(笑顔)

第1組 光徳寺 大西 真志

伯母の葬儀のおときで「阿弥陀様とお釈迦様の違いは何ですか」と導師にお尋ねしたことがありました。せっかくお答えいただいたのにはわからなかったので、「法話」と検索し、仏法聴聞をはじめました。

そして、「信心をいただく」というお話をよく耳にしましたが、これもしばらくよくわからないでいました。ただ、聴聞してるときに、周りのご門徒さんから、「なんまんだぶつ」「なんまんだぶつ」とお念仏が聞こえてきました。するとはっとしました。ばあちゃんのお念仏だと。

ばあちゃんは孫の私をおんぶしてるときも、手をつないでるときも、洗濯物をたたむときもお念仏していました。「なんまんだぶつつあま」と。

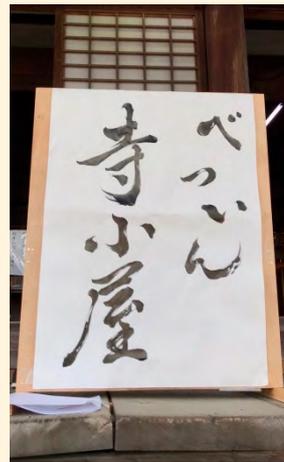
小学生の時に「ねえ、それ何？」と聞きました。すると、ばあちゃんは、「しらんじゃあ」(笑)と答えました。小学生ながら、

ら、「僕のこと、馬鹿にしてるな！」と腹を立てました。高校生になったときにまたたずねました。「なんまんだぶつつて念仏でしょ。何それ？」と。するとまたばあちゃんは「しらんじゃあ」(笑)と答えました。今度は「だめだだめだ。ばあちゃんに聞いてもわからんまんま口ずさんでるだけだ」そうばあちゃんを見限っている私がいきました。

人生のなかばでお寺に聴聞するようになったのはどうしてだろう。少なからずの虚しさや根本的な自分の在り方に違和感を覚えていたのかもしれない。ともかく自らを問うこともなくいた私にふと、その「しらんじゃあ」という言葉が思い起こされたのです。

今改めてこのエピソードを思い返してみると、「しらんじゃあ」っていう言葉はもしかしたら絶妙だったのかもしれないと思ったりもします。ご法話で耳にした、「仏智不思議」、「行者のはからいにあらず」「聞名」、などのお言葉が浮かんでくるのです。還浄したばあちゃんにまた聞いてみたいと思うのですが、でもまた「しらんじゃあ」って答えてくれるのかもしれない。あの笑顔で。

今回は第8組 圓性寺 林 康一朗さんです。



2022年8月8日に新井別院で開催されたべっいん寺小屋では、暑さに負けず元気いっぱいの子どもたちとスタッフの笑顔が輝いていました。

峯村あやめ(妙高市 小四)

ほかの学校のお友だちと一緒に勉強したり、なぞなぞを解いたりしたことがとても楽しかったです。新井別院の寺小屋は二回目でしたが色々準備してもらって楽しく過ごせました。また寺小屋があれば参加したいと思います。



コトバキラリ

朝の歌

小泉 周二

おはよう まつ毛
おはよう あくび
おはよう 手のひら
おはよう からだ
きょう また ぼくは 生まれた

おはよう タオル
おはよう じゃぐち
おはよう 水おと
おはよう こころ
きょう また ぼくは うまれた

おはよう 光
おはよう 小鳥
おはよう 緑
おはよう みんな
きょう また ぼくは 生まれた

響流寺のテラスさんへの質問やお便りをお待ちしています。みんなの声を聞かせてくださいね。





拜啓

通信員より

ねほりはほり

第1組 光照寺 梅澤 謙吾
憂鬱です。上がらない給与、止まらない円安、グダグダなあれやこれ。日本が落ちてゆく様を目の当たりにして、自分がこれほど落ち込むとは思っていませんでした。発見です。そして、若い人たちには申し訳ありません。

第2組 常圓寺 鈴井 祐恭
第2組では去る10月2日に第13組福浄寺住職井上一英先生をお招きして門徒研修会を開催しました。全7回の御文講座は、途中コロナ感染拡大による1年半の中断を経て最終回を迎えましたが、井上先生より大変わかりやすい講義をいただき、あらためて御文のありがたさや大切さを学びました。

第3組 正光寺 高橋 良暁
10月6日から9日まで、高田別院で報恩講が厳修されました。3年ぶりに4日間開催となり、本山から鍵役の宣心院殿に御参修していただきました。感染対策のため団体参拝やお斎、出店など催しはなく、少し寂しい開催になりましたが、無事に滞りなくできたことに安堵しました。列座としてお手伝いさせていただきました。列座としてお手伝いさせていただきました。列座としてお手伝いさせていただきました。

第4組 養性寺 内山 真明

4組社会問題の部門で教化リーフレット3を作成中です。個人的な事ですが、10月7日、報恩講の晨朝法話をさせていただきました。お話をいただき、「親鸞聖人の恩徳とは」でお話させていただきました。自身の向き合いが足りない様に感じました。後に「弘願ともっと向き合ってみたらどうか」とアドバイスを先輩からいただき勉強させていただいています。

第5組 聴信寺 居多 啓

「捨てるどうでもいいのかから捨ててゆくんだね(相田みつを)」【出典『生きていてよかった』】
気が付けば新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い始めてから三年が経とうとしています。この三年で何を捨ててきて、何を残してきたでしょうか。

第6組 福成寺 鎮西 広円

10月に高田別院で報恩講が勤修され、組内の寺院におかれましても報恩講が勤まりだしてきました。自坊においても例年通りとはいきませんが、勤めようと総代さん方より声があがり嬉しく思っております。改めて恩に報いるってなんなのか、ふと感じた私です。

第7組 願生寺 平出 文勇

去る10月27日(木)第七組親鸞聖人講座を新井別院で開催しました。講師に同泉亀田にて地域同朋の会『往生入舎』を開いておられる今泉温資師を迎え、毎回心に響く温かいお話しをしていただいております。まだ聞いたことがない方、次回来月6月に開催予定ですので、ぜひ足をお運びください。宜しくお願致します。

第8組 明岸寺 法隆 光昭

組門徒会の聞法会で、次世代への念仏の相続が懸念されていた。昨今は寺離れ。核家族化で、念仏申す姿を見せることもできない。だがこれも、阿弥陀様の「もう助けさせろ」と、私への御催促。私たちは念仏を喜び、助かるだけだ。寺離れの悪世こそ、阿弥陀様の真骨頂でなかるうか。

第11組 光圓寺 竹内 淳一

存命中には、とらわれ、害い合うものを脱しない質としての、我々凡愚の観であったものが、互いに見捨て合うか無かった者が、底下！凡夫・悪人の身を決して脱しないままでありながら、願心に問われ戒められつつ、初めて場をたまる。呪縛としてあるものが、転質・転成されてくる。かかる我が身に、愈々、本心から尊い世界、真価値が開かれて参ります。アミタの願心と浄土願はそれを促し、人間自然の本性の一つであるが故に成就せずにはいない。同時に成就からこそ、愈々、我々の日々が問われ続けて参りましょう。

第12組 善立寺 山越 英隆

十月半ば、自坊の周りにたくさんのキノコが発生。学名をナラタケと言います。この地では「あまんだれ」と呼びます。美味しいキノコです。コンテナいっぱい採れたので、第一発見者の方や近所の方たちと分け合いました。思いがけないご馳走に皆さん大喜び。いつもは、頂く一方の身が今回は逆。そんな中「財施にたいして法施できなければ虚食信施者ですよ」という恩師の言葉が去来してやまない。

第13組 福浄寺 井上 立英

「暑い、暑い」と言っていたのが「寒い、寒いに」となり、もう雪の心配をするような季節になりました。昼夜の寒暖差が激しくなり、体がまだ寒さに慣れていきません。今年もまた大雪になるとの予報もあります。自然に勝てない私たちは、ただただ備えるばかりです。

新井別院

編集長が紹介

高田教区報『響流』発行もあとわずかになりました。新潟教区になると、高田別院、新井別院に加え三条別院も同教区に存在することになります。しかし、もともとこの三つの別院は関係しあつて建立されているようです。そこで、高田教区にある別院を『別院探訪』（2012（平成24）東本願寺出版部発行）を参考に紹介いたします。



報恩講でにぎわう参道



明治の本山両堂再建と同時期に並行して1895(明治28)年に再建された本堂【18間4面】



新井の地に東本願寺掛所が置かれたのは、1685（貞享2）年、本願寺16代一如上人の時である。

徳川幕府は、1600年代後半に武断政治から文治政治へと政策転換を行い、朱子学を政治思想の中核とし、学問を奨励していく。真宗においても宗学の研究が盛んになり、本山に学寮が創設され、本末制度の確立による集権的な教学の体系化が進むが、教義解釈をめぐる異安心問題を引き起こす背景ともなった。

当地においても、真宗の教義解釈の差異により、幕府を巻き込む一大論争が惹起した。当時、越後の国一円と北信濃地方に触頭寺院（中本山格）として絶大な教勢を誇っていた新井願生寺（大谷派）と、やはり有力寺院の一つであった高田浄興寺（戦後当派を離脱して現在浄興寺派本山）との間の教義異安心論争である。この論争は越後・信濃の寺院・門徒の間に動揺をもたらし、本山はそれを取り締まるために役人を派遣し、敗訴となった願生寺跡を新井道場にした。これが新井掛所の始まりである。その後、一如上人は1689（元禄2）年に越後と信濃の寺院に御消息を出し、異安心のないようにと伝えた。また、本山の裁定と幕府の対応に不満を持つ願生寺



1747 (延享4)年の矢代川
大洪水で流失した梵鐘
【1703(元禄16)年鑄造】
2005(平成17)年4月に妙高市
の土地造成現場から発見され
別院に戻ってきた



恵信尼公堂
【1956(昭和31)年建立】
恵信尼公の尊像を安置している



天保・明治の火災を逃れた唯一の江戸期の
建物である鐘楼
太平洋戦争の供出を免れている梵鐘【1792(寛政4)
年鑄造】



最寄りの橋から望む春の妙高山

梵鐘が流された矢代川



再建用材を曳く毛綱を作るために寄進された毛髪の一部と
寄進帳が残されている
この地方に相続されてきた念仏の歴史を今に伝えている



新井別院

高田教区
〒944-0048
新潟県妙高市下町5-3
Tel.0255-72-2519
えちごときめき鉄道「新井駅」
下車徒歩5分

今回は高田別院を紹介します。

当御坊を崇敬する門徒衆は、寛政年間の本
山両堂再建（1798〈寛政10〉年竣工）に
際して、上洛して工事を手伝い、その功績に
応えた本願寺20代達如上人は、再建を發願し
た父乗如上人の墨衣の御影一幅を、越後国頸
城郡並びに信濃国門徒中へ授与した。以来、
新井御坊では「墨衣御影巡教」と称して、農
閑期の毎冬、豪雪の中、二百有余年休むこと
なく、この地方一帯の集落へ巡回の法座が営
まれていた。

側についた寺院は、仏光寺派に転派するとい
う事態に発展した。本山は1690(元禄3)
年に、三条に掛所を設置するに至るのである。
1698(元禄11)年の御消息では、この新
井掛所を「新井御坊」と称している（『一如
上人御消息集』）。

門徒仏々 言いたい放題

⑧

近代自然主義文学の第一人者・島崎藤村は、小説『破戒』で差別問題を社会に訴えた。

藤村の名作は日露戦争終結の翌年に発表されている。明治に入り徳川幕府による士農工商の差別が無くなる。文明開化の音がする時代は厳格な身分制度が崩壊し、四民平等の自由な社会に移り変わった。けれど、実際の明治政府は新たな平民の他に、「新平民」なるものをつくった。「穢多・非人」と蔑称された被差別部落の人々に対し、白眼視する扱いをしたのである。『解体新書』を著わした蘭学者杉田玄白は、『蘭学事始』に死罪になった遺体の腑分けを見事に行う老人との出会いを書いている。司馬遼太郎原作『胡蝶の夢』にも浅野弾左衛門の活躍と身分引き上げを興味深く描いている。幕府は体制維持の上から、忌み嫌われる社会生活基盤を支える職業に、被差別部落

の人々を都合よく利用してきたのである。『破戒』は主人公の小学校教師である青年の被差別部落への苦悩を通し、当時の四民平等は名ばかりで、不合理かつ理不尽な部落差別の実態を世に問いかけている。日本の自然主義文学は日露戦争による資本主義の発展に伴い生じた貧富の格差拡大から暴動が頻発、思想弾圧が行われる。欧米の自然主義の影響をうけた日本自然主義文学は、詩的な表現に現実矛盾の暴露と自己告発の作品が多くなる。今夏名作『破戒』が映画となり全国上映された。戦後、池部良主演で映画化されているが、令和に入りあらためて映画化された意味は大きい。全国水平社の創立百周年記念映画として製作された。仏教の根本には、「慈悲と平等」が流れる。釈迦は人の善根に、「慈悲」を訴える一方で、個体として人間のそれぞれの違いで生まれる性別・能力・階級等の異なりを、あらゆる面で人が互いに差別を惹起しないよう戒める。仏教は「慈悲」の精神を説きながらも、むしろ「不平等」を看過してきたのではないかと疑う。「慈悲」と「平等」は双方ともに軽重がつけら

れない。しかし乍ら、人は「平等」の思想を貫く心の深淵に、畢竟「慈悲」の心を見出すものである。人の善根を説く仏教が、社会の差別に逡巡してきた事実を、明治時代の名作が文学で鋭く炙り出している。名作の舞台は信州飯山である。飯山から関田峠を越えると、越後頸城平野に至る。信州の偏狭の寒村を舞台にした名作は、現代社会の新たな差別と貧困と不平等の存在に疑問を投げかけている。

主人公丑松が蓮華寺の内部に感じた暗い光景が差別の厚い雲に映るさまは寂しい限り。あまつさえ現代社会の歪みは藤村の明治期の差別意識と相似形をなしていると感じる。

人間社会の差別をなくす根底にこそ「人間は皆等しく尊厳をもつ」との言葉に感動する主人公。これこそまさに《比べるな弥陀の前では皆同じ》の精神が宿る。門徒仏々言いたい放題を捲し立てる。

酒吞童子



愚僧のつぶやき

〈真宗の葬儀編⑩ 最終回〉

真宗の葬儀編も今回で最後となりました。最終回は、お墓について頂いてゆきたいと思います。

中陰法要が済みますと、早い時期に納骨となります。お墓の形式は、宗派や地域などにより様々ですが、真宗門徒のお墓には、墓石の正面に『南無阿弥陀仏』又は『俱会一処くわいいつしよ（俱ともに一処いっしよに会する）』というお言葉を刻むことを勧められています。又、お墓を持っていても、ご本山（東本願寺）や大谷祖廟に分骨することも勧められています。そこには、亡き人を偲ぶと共に、阿弥陀様のお心と出遇い、念仏相続する身となってほしいという願いがある訳です。

私は、このお墓ということを考える時、

いつもご本山を思っています。現在、世界最大の木造建築物といわれている東本願寺の御影堂ですが、もとは親鸞聖人の小さな小さな一基のお墓でありました。京都にございます崇泰院そうたいいんの本堂裏には、当時の親鸞聖人のお墓を再現したものがありません。以前、お参りさせて頂いたことがあります。ありますが、それはそれは質素なものであり、思わず泣きそうになったのを覚えています。親鸞聖人を慕う当時の方々も、聖人の90年のご苦勞を思う時、そのお墓があまりにも寂しいものに思えたのであります。納骨から10年後、墓石の代わりに六角のお堂を建て、その中に親鸞聖人のご影像を安置致します。この様な納骨した上にお堂を建て、影像を安置するという形式は、当時の最高のお墓の形でありました。

けれども、それに満足できなかったのが、本願寺第三代の覚如上人でありまし

た。上人様は「どんなに立派なお墓であったとしても、それは所詮、親鸞様を偲ぶだけのお墓である。そうではなく、みんなが共に阿弥陀様のお心と出遇い、お念仏を慶ぶ場所であるお寺となる事こそ、親鸞様のお心に叶う形である」と、寺院化を願い、ついに本願寺というお寺となったのです。つまり、念仏相続の願いが、現在の本山となったのであり、お墓もまた、そういう願いを感じてゆける場所となつてほしいと思うことであります。

以上、浄土真宗の葬儀の歴史と心を頂いてきた訳ですが、先人の方々は、この悲しい葬儀という仏事を悲しいままで終わらすのではなく、亡き人を『弥陀の本願信ずべし』と呼びかけ続けて下さっている諸仏と拝み、念仏相続してゆく尊い仏事と頂いてきた事であります。

合掌 称六字

ペンネーム 維摩教信



教区ホームページ連動企画「響流」～WEB版～

ネットDE仏教



コミュニケーションツールとして爆発的に広まっている「LINE（ライン）」ですが、情報発信ツールとしても有用です。今回はLINEによる情報発信方法についてご紹介します。

今回の記事

第8回 LINEで情報発信！

〈高田教区ホームページアドレス ⇒ <http://takada-kyoku.jp>〉



響流川柳



さあ ひごろのうっ憤を川柳を作り晴らしてみてはいかがでしょう。

さあ ひごろのうっ憤を川柳を作り晴らしてみては

いかがでしょう。

- ・ 不要不急 何処へ行くやら 人の波
- ・ 身を削り 値上げの秋を 乗り切るぞ
- ・ 独裁者 自暴自棄 核の夢
- ・ 次々と 上がる値段に それ頭痛
- ・ ペンネーム しげじい
- ・ ペンネーム やせ我慢しげじい
- ・ ペンネーム ロシアの夢遊病者
- ・ ペンネーム 貧乏老人頭痛持ち

こもれび

セイタカアワダチソウをご存知だろうか。すさまじい勢いで生えてくる厄介者というイメージをお持ちの方が多いのではないだろうか。

このセイタカアワダチソウで染め物をする時鮮やかな黄色に染まって実に美しい。私の秋の楽しみのひとつである。花を摘んで煮出すと、名前の如く泡立ち、このエキスは肌によく、特にアトピー性皮膚炎に効果があるとのこと。秋のアレルギーの原因と言われているが、風媒花ではなく虫媒花であり、花粉も比較的重く飛びにくいいため、花粉症とは無関係だそう。厄介者で駆除の対象とされているが、見方を変えようと、暮らしに役立つ良草なのである。

私たちは一方的な思い込みや勘違いで人や物事を見ていることがある。誹謗中傷や偏見を生み出すこともある。セイタカアワダチソウへのイメージもそのひとつではないだろうか。

とはいえ、在来植物の生態系に影響を及ぼすことは確かなので汚名返上とまではいかないが、来秋は、セイタカアワダチソウを違う視点から眺め、楽しんでみるのはいかがだろうか。

(浅山)